YA人気シリーズ新刊

「ちくまプリマー新書」シリーズ　筑摩書房

あらゆる分野の入門書がそろっています。何か気になるテーマがあれば、まずは「ちくまプリマー」から読んでみましょう。

『部活魂！この文化部がすごい』
読売中高生新聞編集室/著　Y375.1/ヨ

『はずれ者が進化をつくる』　稲垣栄洋/著　Y460.4/イ

『すごいぜ！菌類』　星野保/著　Y474.7/ホ

『はじめての昭和史』　井上寿一/著　Y210.7/イ

「なるには BOOKS」シリーズ　ぺりかん社

多種多様な職業や学部、それぞれを目指す人に向けて書かれたシリーズです。興味のある職業や学部の本を手に取ってみてください。

『ゲーム業界で働く』　小杉眞紀/著　山田幸彦/著　Y589.7/コ

『ＡＩエンジニアになるには』　丸山恵/著　Y007.6/マ

『ミュージアムを知ろう』　横山佐紀/著　Y069/ヨ

ＹＡブックリスト第 43 号
令和 2 年 11 月発行
稲城市立中央図書館　稲城市向陽台 4-6-18
電話：042-378-7111　FAX　：042-378-7162
https://www.library.inagi.tokyo.jp

稲城市立図書館　ヤングアダルト
BOOK LIST
VOL.43

過去から未来へ
―過去編―

歴史が好きな人はもちろん、苦手な人でも楽しく学べる本や、歴史を知りたくなる本を集めてみました。過去を知ることで未来に活かせることもあるのではないでしょうか。

『まほろばトリップ』倉本由布/著　アリス館　Y913.6/ク



中二の真秀は、7 年前失踪した兄・丈瑠の手がかりを掴むため、失踪した地である明日香村を訪れました。丘の上でキレイな翡翠を拾うと、突然緑のもやに包まれ、目が覚めるとそこはなんと飛鳥時代！！蘇我一族や額田王など授業で聞き覚えのある人々が出てきます。歴史上の人物たちが真秀とかかわる姿で歴史を身近に感じ、もっと詳しく知りたいという気持ちになるはずです。

『日本史でたどるニッポン』ちくまプリマー新書
本郷和人/著　筑摩書房　Y210/ホ

日本史を「政治の中心と外圧」「世襲」「宗教」のテーマで解説し、さらには地理的・気候的要因がもたらした日本人特有の気質と日本史とを関連づけて書かれてあって、何度でも読み返したくなる本です。歴史は既に過ぎたこと、変えられないことですが、その見方は様々だと教えられます。歴史を学びたい人にはぜひ読んでほしい一冊です。

歴史を学ぶ



『歴史を味方にしよう』心の友だち
童門冬二/著　ＰＨＰ研究所　Y210/ド
歴史は好きですか？好きな歴史上の人物はいますか？「歴史を学ぶ」ことは、「日々の生き方を学ぶということ」「力強く人生を歩んでいけること」と考える筆者が、歴史を学ぶメリットや歴史人物のおすすめポイントを紹介してくれます。

『歴史を知る楽しみ』ちくまプリマー新書
家近良樹/著　筑摩書房　Y210.5/イ

『１０分で読む日本の歴史』岩波ジュニア新書
ＮＨＫ「１０ｍｉｎ．ボックス」制作班/編　岩波書店　Y211/ニ

時代から想像する



『もえぎ草子』　久保田香里/作　ｔｏｎｏ/画
くもん出版　Y913.6/ク
平安時代中頃の京の都。育ての親である叔母と別れ、一人で中宮のための役所・職御曹子（しきのみぞうし）で下働きとして働くことになった12 歳の少女“萌黄（もえぎ）”。清少納言が藤原行成（ふじわらのゆきなり）に送る手紙を届けたり、清少納言が書き記す枕草子を読んでもらったりしているうちに、萌黄は言葉が紙を通じて広がっていくことを知ります。

『ハマる縄文！？』　山岡信貴/編著　徳間書店　212.5/ヤ
一万年以上も続いた縄文時代。ハマる人がジワジワ増えているという。掘り出された土偶を見ると、何かを言おうとしている？なんのために作ったの？なんのための装飾？などなど想像を掻き立てられます。あなたはどう思いますか？

『「武士」の仕事』　歴史ＲＥＡＬ編集部/編　洋泉社　210.5/レ

『戦後日本史の考え方・学び方』14 歳の世渡り術
成田龍一／著　河出書房新社　Y210.7/ナ

過去と現在



『百年後、ぼくらはここにいないけど』
長江優子/著　講談社　913.6/ナ
地理歴史部、通称「チレキ」。健吾はチレキのゆるいところが気に入っていたのに、新顧問によって活動が一変し、ジオラマを作ることになってしまいました。テーマは「百年前の渋谷」です。最初は不満たらたらの健吾でしたが、百年前ここに住んでいた人、そして今ここに生きている人たちの思いを知るにつれ、意識が変わっていきます。



三川みり/著『君と読む場所』(新潮文庫刊)Y913.6/ミ
中三の有季は図書館で職場体験をすることになりました。一緒に行くのは、隣のクラスの女子・森田。無表情で無口な彼女とどう過ごすか悩んでいたところ、二人の共通点を見つけます。それは、時代小説『さぶ』が好きなこと。古臭く感じる時代小説や昔書かれた本も、読んでみたらあなたの「一生好きな本」になるかもしれません。

戦争を知る



『マレスケの虹』森川成美（しげみ）/作　小峰書店　Y913.6/モ
マレスケはハワイ島に住む日系二世の中学生。祖父、兄、姉の 4 人家族で、貧しくも平和な暮らしでした。しかし1941 年 12 月、日本軍がパールハーバーを攻撃したことで、生活は一変します。ハワイの人たちにとって日系人は敵になりました。一世の祖父は収容所に連行され、兄はアメリカ兵となり戦地へ向かうことに…。
いつの間にか、２つの「国」に翻弄（ほんろう）されるマレスケの気持ちになって読んでいることでしょう。希望を持って未来へ向かおうとするマレスケを応援したくなります。

『晴れたらいいね』　藤岡陽子/著　光文社　913.6/フ